

[dōnk]

D O N C どんく

発行

三重日仏協会

SOCIETE FRANCO-JAPONAISE DE MIE

〒514-0006 津市広明町418
418, Komei-cho Tsu-shi
TEL 059-226-2766
FAX 059-229-0967

N° 69 juillet 2004 SOCIETE FRANCO-JAPONAISE DE MIE

2004総会

渡辺先生の記念講演に感銘

「パリ祭」も多数のフランス人ゲストを迎え盛会

三重日仏協会2004年度総会は7月11日（日）午後津市のプラザ洞津で開催、理事会提出の諸議案を原案通り承認しました。このあと横浜市立大学・渡辺芳敬先生による記念講演『フランス現代思想入門』が公開でおこなわれ多くの聴衆が参加し感銘を受けました。渡辺先生は最近も滞っておられたパリの魅力から話を始められ、パリの名物エッフェル塔について独特な考察をしたロラン・バルトの思想にふれながら、記号論、精神分析論など20世紀フランスの思想についてわかりやすく解説され、聴衆からの質問も相次ぎました。続いて「パリ祭」パーティに移りましたが、今回はおなじみのダメモ、ゲートマン、西脇ランジュバンの3先生のほか、ドミニク・ドーセさん一族5人、リヨン大学からの研修生二人、最近飯南町に来たラシッドさん夫妻、さらにたまたま鈴鹿市の企業に出張中のビジネスマンらこれまでになく多数のフランス人ゲストを迎えて盛大に行われました。また、まもなく三重大学からリヨン大学に留学する坂田さん、平田さん2名の女子学生も参加、本番にそなえてフランス人との交流につとめていました。宴は「パリの名所ビンゴゲーム」、クイズ、福引きと続き和やかな時間を過ごしました。



渡辺芳敬先生の講演



乾杯の発声をする藤田専務理事とゲストたち

フランス大使主催 全国日仏協会の集い 予定時間超えて熱心な話し合い

駐日フランス大使が主催して呼びかける「全国日仏協会の集い」が6月12日（土）、二年ぶりに東京・南麻布のフランス大使公邸で開催されました。各地の日仏協会はそれぞれ独立した組織で、協会のレベルでは交流の機会がほとんどないこともあって、この催しには関心が強く、全国から百数十名が参加、公邸のホールは満員の盛況でした。三重日仏協会からも副会長井土と長嶋運営委員が出席しました。

会議はまずベルナル・ド・モンフェラン大使から日仏関係の現状について、政治、経済、文化の各分野で好ましい状況にあることが述べられ、特に草の根の交流において各地の日仏協会の果たす役割が大きいことに感謝の念が示されました。その後、経済関係、文化関係、広報関係の大使館担当官からさらに詳細な説明があり、それらを受けて日仏協会側からの発言となりましたが、質問、要望、PRなど活発な発言が相次ぎ、予定時間をはるかにオーバーして討議が続きました。

会議の内容は多岐にわたりますが、文化面ではいま“Nouvelle Japonisme”とよばれるほどの日仏文化交流が進んでいる（マンガ、グラフィックアート、浮世絵展、海老蔵一行のパリ公演など）こと、青少年の交流にフランス側が特に力をそそいでいること、経済面では両国の社会保障、年金問題などでのつっこんだ意見交換が必要と指摘されたことなどがとりわけ印象的でした。なお、来年の愛知万国博にシラク大統領が訪問予定であることが明らかにされました。（井土記）



「全国日仏協会の集い」の参加者たち 大使公邸の庭で

全国日仏協会の集いに参加して

長嶋 真 貴

先日、駐日フランス公邸で開催された全国日仏協会の集いに参加しました。フランス公邸内の庭は広く、公邸からの眺めはビルがほとんど見えず、都内にいながらも静かな雰囲気のところでした。周辺は、雑貨屋では日本の新聞とともに英字新聞が販売され、ローストチキンを焼いて販売するワゴン車が走るなど大使館が多い地区のせいか、どこか異国情緒のあふれるところでした。

集いには、佐賀や香川など全国各地からたくさんの方が参加し、冒頭、駐日フランス大使ベルナル・ド・モンフェラン氏から、全国各地の日仏協会が、それぞれ地域の特徴を持って日仏の交流活動しており、それらの活動を心強く思うとの感想をいただきました。

質疑応答では、フランス大使館の活動への質問や、協会活動の協力といった要望だけでなく、各地の協会の活動紹介も合わせて行われ、活発な意見交換が行われました。

現在、全国各地で53の日仏協会がコンサート、映画上映会、学校交流、フランス語講座、物産展など様々な活動をしています。三重の近くの岐阜では、岐阜市内を歩いて回る「プティ・ツール・ド岐阜」を、奈良ではパリ祭に合わせて物産展を企画しています。さらに6月28日は新しく姫路に日仏協会ができ、どんどんと日仏交流の輪が広がっています。

これら、団体同士あるいは会員ひとりひとりの輪につながり、地域と地域、日本とフランスとのつながりに発展すればと思います。

6/26

フランス家庭料理作りに23名

ランジュバン夫人の指導で

6月26日（土）午前10時から津市白塚市民センターで三重日仏協会主催による料理教室「フランス家庭料理を楽しむ」が開かれました。講師は四日市でフランス語を教えている在日20年余のミシェル・西脇・ランジュバンさん（名古屋市）。前菜、メインの鶏料理、デザート
の3品のレシピを流暢な日本語で説明されたあと、手際よく調理の指導をされました。参加者26人は4グループにわかれて熱心に調理した後、完成した料理を試食し楽しい半日を過ごしました。



右から二人目がランジュバン夫人

「姫路日仏協会発会記念パーティー」に参加して

滝澤秀行

6月28日（月）姫路キャッスルホテルにて、姫路日仏協会発会記念パーティーが盛大に催されました。全国の日仏協会ですべて最初に発足したのが神戸日仏協会（1900年）。同じ兵庫県で、105年後に発足した姫路日仏協会は50番目ということです。

姫路獨協大学でフランス語を教えている白井智子さん（会長に就任）が2年ほど前から発会の準備に当たり、姫路市の商工会議所、大学、県の関係機関などの協力をとりつけてきました。また名誉会長には駐日フランス大使のベルナール・ド・モンフェラン氏が就任。発足時会員数が200名を超えるという規模の大きさが印象的でした。また会員の7割が女性で構成されているのもイマ的な特徴でしょうか。（三重日仏協会事務局長）

大阪・神戸フランス総領事主催の 7.14レセプションに招かれる

恒例のフランス総領事主催7月14日〈Fête Nationale〉レセプションは、同日午後6時から今回は大阪帝国ホテルで開催され、招待を受けた井土副会長が出席、ローラン・パドゥー総領事と初めてあいさつを交す機会を得ました。

INFORMATION

7/16^金～
8/31^火

亀井カノン 初めてのハガキ絵展 Parisと関宿を描く

亀井カノンさんは教員退職後1997年から4年間パリのモンパルナスに住み、美術学校に学びながら、パリの風景スケッチやルーヴル美術館での名作模写を重ねられました。現在は関宿のスケッチを楽しんでいるとのこと。1998年秋「日本におけるフランス年」に際して三重県美術館で開催した『太陽の地プロヴァンス展』では日本側の作家として出品をされ好評を博しました。三重日仏協会会員。

I期 7/16(金)～8/3(火)

II期 8/4(水)～8/17(火)

III期 8/18(水)～8/31(火)

会場はいずれも 百五銀行関支店(鈴鹿郡関町木崎)ロビー

展示は開店時のみ

9/16^木

第1回 ディナー・ガストロノミーク

料理とワインのマリアージュ レストラン〈ラ・パルム・ドール〉で

津市のフランス料理レストラン〈ラ・パルム・ドール〉では、季節料理とワインをコーディネートする美食会〈Le Diner Gastronomique〉を年3回開催することになり、今回一回目のテーマは「初秋の味覚」。三重日仏協会会員のオーナーシェフ・後藤雅司さんの個性あふれる料理と、同じく三重日仏協会会員で全国的に高名なソムリエ・ワインアドバイザー長田康二さんによるワイン選択とスピーチはともに大いに期待されます。定員は40名、主催者は早めの予約を希望しています。

問い合わせは〈ラ・パルム・ドール〉059-232-8500まで。

9月16日(木) 18:00～

参加費 10,000円(税・サービス料込み)

9/2^木
～12^日

〈寺尾 恵 と パリ版画工房〉

アトリエ・コントロールポアン銅版画展

パリエ工房から届く“おやじ”のため息

四日市市 山画廊

なお山画廊では来年1月23日から、パリ・サンジェルマン地区の〈ギャルリー・アリザンヌ〉で日本のすぐれた工芸・美術品を展示する催しを開催することになっており、その観覧を兼ねて『パリと南フランス観光と美術館めぐりの旅』(1/23～1/30、費用345,000円)を企画しております。詳細は山画廊パリ展企画準備室0593-51-0733まで。

CINEMA

フランス映画情報

津・大門
シネマ

9/4～17 『パピヨンの贈りもの』(2002)

フィリップ・ミュイル監督 出演: ミシェル・セロー

9/18～10/1 『スイミングプール』(2003)

フランソワ・オゾン監督 出演: リュディヴィーヌ・サニエ、シャロット・ランプリング

関西日仏
学館の
〈シネクラブ〉
8月の予定

8/5(木) ジャン＝リュック・ゴダール監督 『男性・女性』(1966)

出演: ジャン＝ピエール・レオ、シャンタル・ゴヤ

8/12(木) ジャン＝リュック・ゴダール監督 『中国女』(1967)

出演: アンヌ・ヴィアゼムスキー、ジャン＝ピエール・レオ

8/19(木) マチュー・カソヴィッツ監督 『カフェ・オ・レ』(1993)

出演: ジュリー・モデュエシュ、マチュー・カソヴィッツ

8/26(木) マチュー・カソヴィッツ監督 『アサシンズ』(1997)

出演: ミシェル・セロー、マチュー・カソヴィッツ

いずれも関西日仏学館 稲畑ホール 19:00～

会員は無料、一日会員1,000円